

インターネットに潜む危険性



子どもたちが利用しているインターネットの世界

スマートフォンを利用しているほとんどのユーザーが SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用しており、代表的な Twitter、Instagram は、多くの子どもたちがアカウントを所有しております。主に情報収集用や趣味用などを目的として利用され、複数のアカウントを用途によって使い分けしているという実態があります。また現在、国内では新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、ご自宅でのインターネット利用頻度が高まっております。

インターネットで知り合ったことを信用することの危険性

インターネット上では、趣味などの共通点から面識のない人物との交流が生まれることがあります。やり取りを重ねる内に距離が縮まり、仲良くなることは決して珍しいことではありませんが、色々な人物と簡単に繋がることが出来る利点を悪用されて、子どもたちがトラブルに巻き込まれる事例が発生しております。

【思春期で相談できない児童・生徒のケース】

身体の成長過程で悩んでいるけど、先生や友達に相談することができなかった。たまたまインターネット上で知り合った人が優しい人で相談を繰り返すうちに、安心感が生まれ、自分の裸の写真を送って相談してしまった。相手が誰かも分からず、一度送信してしまったものは保存されて拡散される恐れもあるので、トラブルにならないか恐怖を感じている。 ※実際に、小学生で自撮りした裸の写真を送ってしまったという事例が発生しております。

子どもたちに伝えるべきこと

子どもたちにとって、インターネットは便利で楽しいものであるため、なくてはならないものになっています。ただ、普段の使い方を家庭の中で日々振り返っていくことが大切です。みんなもやっているからと軽い気持ちで色々な人物と交流を重ねると思わぬトラブルに巻き込まれる可能性があります。上記ケースのように自撮りした裸の写真を SNS に投稿したり、知らない人を友達登録したり、危ない使い方をする子どもが少なくありません。インターネットの危険性について、実際に起こったトラブル事例を伝え注意を払うと同時に、子どもたちへインターネットの使い方について、使用ルールを作っていくことが不可欠です。